



平成24年7月12日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
代表者 代表取締役社長 菱沼 捷二
(コード番号 6217)
問合せ先責任者 常務取締役総務部長 富井 裕次
(TEL 076-242-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,800	700	600	550	8.60
今回修正予想(B)	38,100	450	400	350	5.48
増減額(B-A)	△1,700	△250	△200	△200	
増減率(%)	△4.3	△35.7	△33.3	△36.4	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	42,409	1,007	825	895	14.01

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,600	500	500	7.82
今回修正予想(B)	36,900	300	300	4.69
増減額(B-A)	△1,700	△200	△200	
増減率(%)	△4.4	△40.0	△40.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	41,234	613	781	12.22

修正の理由

(連結)

繊維機械事業では、第3、第4四半期につきましては第2四半期に比べ大幅に改善を予想しておりますものの、中国向け案件では前半の受注減少が影響し、売上が若干減少すると見ております。一方、インドを中心にエアジェットルームの売上の増加を見込んでおります。受注環境につきましても、中国市場の金融緩和や原綿価格の安定などが期待され、次第に回復に向かうと予想しております。

しかしながら、欧州の景気後退による中国製繊維製品の輸出減少や昨年来ウォータジェットルームの需要を牽引しておりますスポーツ衣料などに用いられる細番手高密度織物市場に停滞感が見られますことから、当初予想した伸びには至らないと判断せざるを得ません。

こうした市場環境の変化に対し、受注の確保はもとより、社内での生産改善、コストダウンを強力に進め、利益確保につなげてまいりたいと存じます。

工作機械関連事業では、欧州債務危機の影響が懸念されますものの、日本の工作機械業界は引き続き堅調に推移すると予想され、また世界の主要自動車メーカーや自動車部品メーカーがグローバルな設備投資を継続しておりますことから、市場環境は総じて堅調に推移すると見込んでおります。こうした流れの中で、当事業部門におきましても、引き続き業績の改善を見込んでおります。積極的な受注活動を展開してまいりますとともに、生産の効率化を図り、売上の拡大を果たしてまいりたいと存じます。

以上のとおり繊維機械事業の先行きが不透明となっておりますことから、通期の業績予想につきましては、売上高38,100百万円と、誠に遺憾ながら4月13日に公表いたしました予想値を下方修正いたします。損益面では営業利益450百万円、経常利益400百万円、当期純利益350百万円に下方修正しております。

(個別)

業績につきましては上記のとおりであります。

通期の売上高は36,900百万円と4月13日に公表いたしました予想値を下方修正いたします。損益面では経常利益300百万円、当期純利益300百万円に下方修正しております。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上